

～歴史と風情あるまちなみをぶらり散策～

肥前浜宿

有明海を臨む浜川河口の町として栄え、江戸時代は長崎街道多良往還（多良海道）の宿場町として豊かな町並みがつくられました。

2つの重要伝統的建造物群保存地区で形成されており、それぞれ特徴のある町並みを散策できます。



●浜中町八本木宿(酒蔵通り)

浜川左岸に広がる町並みです。江戸～明治にかけて、酒造などの醸造業を中心に発展し、大型の酒蔵や武家屋敷、洋風建築など多彩な建物が、変化ある町並みを形成しています。



●浜宿いきいき館



地元のまちづくり団体が運営する観光直売所です。お土産や地元の名物、旬の魚介や農産物が購入できます。市内各蔵元のお酒もそろっていて、有料試飲ができます。

●継場

江戸時代の建物で、宿場間の荷物等を中継する拠点でした。馬をつないだ鉄輪や帳場が残っています。現在観光案内所として、肥前浜宿散策の拠点となっています。



●浜庄津町浜金屋町(茅葺きの町並み)

浜川右岸に広がる町並みです。江戸時代から商人や船乗り、鍛冶屋や大工が暮らし、にぎわっていました。細い路地や茅葺きと椀瓦葺きの町屋が密集した町並みが特徴です。



●まちなみガイド

見どころいっぱいの肥前浜宿を「まちなみガイド」がご案内します。地元ならではの話をまじえ、旅の思い出づくりのお手伝いをします。



●旧乗田家住宅

酒蔵通りから少し裏に入った所にある武家屋敷です。江戸時代末期に建てられた鹿島藩士の旧宅で、広い敷地とクド造りの茅葺屋根が特徴です。市の文化財に指定されています。



鹿島酒蔵ツーリズム®

※「酒蔵ツーリズム」は佐賀県鹿島市の登録商標です。

鹿島は古くから酒造りが盛んな土地柄です。現在も6軒の造り酒屋があり、豊かな自然に育まれたおいしい水と米、そして蔵人の手によって良質な酒が醸されています。鹿島酒蔵ツーリズムは、酒蔵をめぐるながら、その土地ならではの食や文化、歴史を楽しむ旅のスタイルです。



●地酒…鹿島の酒は、世界でも数々の賞を受賞しています。蔵元が魂を込めた美酒の一滴は、芳醇な香りと深い味わいの逸品です。

●6蔵同時蔵開き

3月末には、市内酒蔵の同時蔵開きに合わせ、肥前浜宿で「花と酒まつり」、祐徳門前商店街で「祐徳門前春まつり」など、市内各所で多彩なイベントが開催されます。各会場を巡る循環バスも運行されます。



●矢野酒造

主要銘柄は「竹の園」「肥前蔵心」。事前予約により、酒蔵見学が可能。試飲・販売あり。



●馬場酒造場

主要銘柄は「能古見」「芳薫」。酒蔵見学は不可。事前予約により、蔵元のお話が聞けます。販売あり。



●幸姫酒造

主要銘柄は「幸姫」。観光酒蔵。予約不要で常時酒蔵見学が可能です。試飲・販売あり。



●峰松酒造場

主要銘柄「肥前浜宿」「王将」。観光酒蔵。予約不要で常時酒蔵見学が可能です。試飲・販売あり。



●光武酒造場

主要銘柄は「光武」「金波」。酒蔵見学は不可。事前予約により蔵元のお話が聞けます。試飲・販売あり。



●富久千代酒造

主要銘柄は「鍋島」。酒蔵見学は不可。事前予約により蔵元のお話が聞けます。

●つつじまつり (4月下旬～5月上旬)

祐徳稲荷神社外苑の東山公園では、5月になると一目5万本のつつじの花が斜面をうめつきます。下から仰ぎ見ると圧倒されるような景観が楽しめます。



●鹿島ガタリンピック (5月下旬～6月上旬)

有明海の広大な干潟を舞台に繰り広げられる干潟のオリンピック。泥だらけのユニークな競技に会場内は笑いの渦。出場申込は即日定員になるほどの人気です。



●沖の島まいり (旧暦6月19日)

提灯で飾り立てられた多くの船が、有明海沖の岩礁「沖の島」に向け、鉦や太鼓を打ち鳴らしながらいっせいに船出します。雨乞いや航海の安全を祈願するお祭りです。別名おしまさん参り。



●鹿島納涼花火大会 (7月～8月)

色とりどりの花火が夏の夜空を彩る。鹿島の夏の風物詩です。こんなに近くで見られる花火はめったにありません！夏の思い出づくりに家族でお出かけください。

